

る。
大学でのリカレント教育は、新たな科学技術を生み出すための基礎を体系的に学べるのが特徴だという。学生

は人工知能(AI)の場合には情報、統計・解析、データサイエンスなど、量子コンピューターの場合には量子力学から学んでいる。
研究グループは、結晶構造が立方晶の3C-SiCと、六方晶の4H-SiCを積層させたハイブリッド構造基板を同時横方向のエピタキシャル成長法を用いて製作。さらに、絶縁膜を形成したハイブリッド構造基板の表面の界面準位密度を走査型非線形誘電率顕微鏡法で計測したところ、3C-SiC表面の密度を4H-SiC表面の200分の1以下まで大幅に減らせることを確認した。

会認定

台教授発明

産業の発展に多大な貢献をした電気・電子・情報通信分野の発明や技術を選定する。IEE

EEが仙台市内で開いた贈呈式に出席した発明者の岩崎東北大特別荣誉教授(写真)は「情報技術が社会に広く使われていく。それが『美しい研究』の一例でもある」と自身の研究を振り返った。

結晶構造異なるSiC積層

東北大 パワー半導体信頼性向上

東北大学の桜庭政夫准教授、佐藤茂雄教授、長康雄特任教授らは、CUSiC(仙台市青葉区)と共同で、

結晶構造が異なる炭化ケイ素(SiC)同士

極低温で 模並列計算

電子使い新手法

を利用したAI処理を実行する。交流磁場で時系列データを入力するとスピンの向きや並び方が変動する。これをAI処理のリザバート計算として利用する。従来技術は熱ノイズで入力情報が失われて